



1 学期の講座が終了 & 「理サポ」進捗状況

最終盤の講座(7月7日まで開催分)の様子です

小学校外国語活動講座(6/30)

1学期最後の講座授業が春日北小学校5年生で行われました。「Hi, friends! 1」の単元を基に、他者と関わり合い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことをねらいとした活動で、児童はインタビュー活動やゲームを通して友達との関わりを楽しんでいました。

午後は、講師の伊万里市立立花小学校教頭の宗誠先生のお話に引き込まれ、受講者の方々は、外国語活動の授業の実践例等をたくさん学ばれていました。



楽しい活動がたくさん！



質問に対応される宗先生

＜受講者の声＞

- ・授業では、めあての提示の仕方や児童への言葉かけ、アクティビティの進め方等が参考になった。
- ・講師の宗先生の豊富な実践、経験に基づいた具体的なお指導を受け、明日からの意欲が湧いてきた。子どもを引き付ける授業づくりのヒント等について分かりやすく教えていただいた。

養護教諭専門Ⅰ講座(7/7)



応急処置の実演が好評！

1学期の講座の締めくくりは「養護教諭専門Ⅰ講座」でした。唐津市加唐島診療所所長の小野原貴之先生に、学校における応急処置の基本的知識・技術について、講義・演習をしていただきました。特に、応急処置の実演では処置方法を身に付けようと、受講者の方々はさかんに質問されていました。

- ☆ 夏季休業中の講座も7月21日(火)にスタートしました！その様子も随時ご紹介します。
- ☆ 定員に余裕があり、追加募集をしている講座もまだあります。ぜひ受講をご検討ください！

「理サポ」公開授業に向けて

試行授業を行いました！

理科力向上サポート事業では、小中連携を意識した共通の授業モデルを公開授業で提案し、参加いただいた先生方と理科の授業づくりについて協議するという活動を行っています。

これに先立って、太良町立多良中学校の本山典明教諭により、授業モデルに沿った形での試行授業を行っていただきました。

工夫を凝らした事象提示から始まり、言語活動を効果的に取り入れた授業展開でした。また、生徒自らが学習課題を設定し、目的意識をもって学習に取り組んでいました。



導入での事象提示の場面

公開授業に向けて鋭意検討中！

小学校委員5名、中学校委員5名、学校教育課指導主事(中学校理科)及びセンター所員からなる「理科力向上サポートチーム」で第2回理科力向上サポート委員会を行いました。教育センターが提案する学習過程とその効果について、試行授業の報告を基に協議しました。その協議内容を受け、各学校委員は公開授業に向けての指導案検討を全員で行いました。



試行授業の報告

- ☆ 公開授業の日程等詳細については8月末に決定します。後日「ミネルバ」でもお知らせします。

子どもが変わる！授業が変わる！実践研究に取り組んでいます！

教育センターでは、各学校、先生方の教育実践に役立つように、理論とともに実践的な側面からの調査・研究に取り組んでいます。今年度は、小・中・高等学校の様々な教科、領域で14の研究を行い、「授業に役立つ実践研究」として、Webや公開授業を通して先生方に提案していきます。

今年度のプロジェクト研究

学校現場の先生方とセンター所員が、プロジェクトチームをつくって行う研究です。また、佐賀大学とも連携し、より良い研究になるように取り組んでいます！

小・中・高等学校教育相談研究委員会(2年次/2年計画)

テーマ「支え合う人間関係を築くための支援の在り方」-ピア・メディエーションに関する活動プログラムの開発-

ピア・メディエーションとは、児童生徒同士のトラブルに対して、児童生徒同士で解決を図ろうとする活動のことです。「怒りについて知る」「トラブル未然防止のスキル」「トラブル解決のスキル」の順に構成した活動プログラムを開発し、提案します。公開授業では、研究の状況を先生方に見ていただくように予定しています。

公開授業の予定校

小学校	佐賀市立神野小学校	10/20(火)
中学校	みやき町立三根中学校	11/5(木)

授業改善研究委員会(1年次/2年計画)

テーマ「佐賀県小・中学校学習状況調査等から見える課題の解決に向けた授業改善」

佐賀県小・中学校学習状況調査等から見える児童生徒の課題を解決するために、課題の詳細を調査・分析し、課題解決に向けた効果的な授業改善策を提案します。校種、教科別に部会を組織して、研究委員会を行っています。今年度は小・中社会科において公開授業を行う予定です。ぜひご参加ください。

各部会と調査・分析中の課題の内容(一部)

小学校	国語	目的や意図に応じて、条件に合わせて書くことや複数の内容に関係付けながら自分の考えを書くこと	
	社会	資料から読み取った情報を比較したり関連付けたりして、社会的事象の特徴、働き等を考え、表現すること	公開授業
	算数	図や表から数量関係を把握したり、数量の関係を表現している図を解釈したりすること	
中学校	国語	文章の構成、表現の特徴や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもったり、まとめたりすること	
	社会	情報を基に、社会的事象の特色や事象間の関連を説明する等、言語を使って考え、判断し、表現すること	公開授業
	数学	事柄が成り立つ理由を説明することや図形の証明に関する事等数学的な表現を用いて記述すること	
	英語	あらすじや大切な部分等を読み取ったり、話の内容や書き手の意見等を批判的に読んだりすること	

※ 小学校理科、中学校理科は、「理科力向上サポート事業」で取り組みます。(ミネルバ138号p.3、141号p.1をご覧ください)

社会科公開授業の予定校(中学校未定)

太良町立大浦小学校	9/15(火)
唐津市立相知小学校	10/16(金)
鳥栖市立若葉小学校	11/12(木)



研究委員会で議論を重ねています！

小・中学校道徳教育研究委員会(1年次/2年計画)

テーマ「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳の時間の在り方」 -自己の生き方(人間としての生き方)について「考え、議論する」学習を通して-

学習指導要領の一部改正により、「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として新たに位置付けられました。「考え、議論する」道徳科へ転換し、児童生徒の道徳性を育むことが求められています。「どのように指導方法を工夫すべきか」「道徳性に係る成長の様子をどのように評価するのか」など、問題解決的な学習を取り入れた実践を通して研究し、提案します。

これまでの研究については、教育センターWebの

「授業に役立つ実践研究」をご覧ください。授業づくりのアイデアが満載です！

http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/index.htm



「個別実践研究」「特命研究」の研究等については、後日「ミネルバ」にてご紹介する予定です。

「授業に役立つ実践研究」に関することは・・・研究調査担当へ 0952-62-5214 (直通)

佐賀県適応指導教室「しいの木」について

「えびすFM」に生出演 ～「しいの木」の紹介をしました～

佐賀市のコミュニティラジオ局えびすFMで、お昼にオンエアされている「佐賀 FUN 倶楽部 よかかんた～」。

7月13日（月）に佐賀県教育センター生徒指導担当の中尾係長、「しいの木」支援員の木下所員が生出演し、教育センターの敷地内にある、佐賀県適応指導教室「しいの木」について紹介する機会をいただきました。約1時間の出演でしたが、パーソナリティーの松本由紀さんの軽快なナビゲートもあり、あっという間の時間でした。二人の所員のリクエスト曲も流れる等、楽しくも内容の深いものとなりました。

ラジオ出演の内容を抜粋してご紹介します。

Q 「しいの木」はどんな子どもたちが利用していますか。

A 現在、学校に行くことができない、または、学校復帰を目指し段階的に登校している子どもたちが利用しています。

開級は月・火・木・金曜日で、水曜日はチャレンジ登校の日です。活動時間は10時～15時です。



和やかな雰囲気の中での生放送でした！

Q 主にどんな活動をしていますか。

A 個人の状況に応じて活動内容を提供しています。

個人の活動では、カードゲーム、読書、制作活動などに取り組んでいます。集団の活動としては、スポーツやゲーム、調理実習、栽培学習に取り組み、体験活動を中心としています。他に、年間3回の専門実習（専門講師を招いて陶芸や音楽、調理実習）、年間3回のふれあいの会では、通級生とその家族が集まり、カレー作りやバーベキュー、餅つきなどをして親睦を深めています。また、秋には2泊3日の宿泊体験や2日間の就業体験も行っています。

Q 子どもたちにどのようなかわりが必要だと思いますか。

A 不登校児童生徒に限らず、どの子どもも、自分の置かれている場所で「頑張りたい」「人の役に立ちたい」という思いを持っています。特に不登校の子どもは、その出し方が分からなかったり下手だったりします。また、状況の把握や人との関係の取り方が不器用だったりもします。周囲の大人が観察して適切な支援を行ったり、集団に入る手助けをしたりするだけで、ずいぶん集団の中になじみやすくなる場合があります。

「しいの木」ってどんなところ？



センター敷地内の静かな環境

「しいの木」は平成5年に開級し、今年で22年目になります。全国的に不登校児童生徒が増え始めた時代に、家庭や学校以外の子どもたちの居場所として作られました。

しいの木は家庭や学校と一緒に、不登校の児童生徒の状況に応じて支援を行っています。個別の支援や小集団での活動を通して、自立を促しながら集団生活に適応する力を育むことを目的としており、「自分のペースで安心して過ごすこと」や「仲間と楽しく過ごすこと」等を大切にしています。

まずは電話相談をして、見学を申し込んでください。

「しいの木」のWebはこちら：

<http://www.saga-ed.jp/shidou/shiinoki/>

適応指導教室「しいの木」に関することは・・・「しいの木」へ 0952-62-8141（直通）

おすすめ教育書籍・雑誌の紹介 ～夏の一冊をお探しくささい～

夏のイチオシ図書！

比較的時間がとりやすい夏季休業中、2学期の取り組みに向けて読書はいかがですか。今回は所長、副所長、研究課長がおすすめ図書を紹介しします。教育センターの図書資料室に置いている本もあります。ぜひ手に取っててください。

数学の授業づくりの参考に！

『The Mathematical Gazette』（The Mathematical Associationの機関誌です）

これには、高校生から大学生、そして、その教育に携わる教師や大学講師、及び、数学愛好者等が楽しめる世界中から集められた豊富なアイデアが詰まっています。ちょっと、新しいアイデアに触れてみたくなったとき、その気持ちを決して裏切らない一冊です。数学の授業でアクティブ・ラーニングの推進をお考えの先生方にとっても、必ず良いヒントを与えてくれる一冊となると思います。ぜひ、一度手に取ってみてください。（所長 碓 浩一）

教師としての自分を見つめよう！

『授業一子どもを変革するもの』（斎藤喜博／国土社）

「授業は、教師や子どもに創造と発見の喜びを与え…、つぎつぎと新鮮にし変革させていくものである。」本書は、教育界に多大な実績と影響を残された斎藤喜博氏の教育哲学が、たくさん詰まっている名著です。一つひとつの言葉を受け止めながら読むと、「教育の本質」について改めて考えさせられ、教育に対する情熱がこみ上げてきます。様々な教育改革が行われている今だからこそ、ぜひ読んでいただきたい本です。（副所長 富吉 猛）

観点別学習状況の評価の充実に！

〔平成24年度版〕『観点別学習状況の評価規準と判定基準』中学校全9巻（北尾倫彦 監修／図書文化）

この夏休み中に、まだご覧になられていない先生方は一度手に取ってほしいと思う一冊です。本書のシリーズは、現行学習指導要領における評価の進め方を具体的かつ分かりやすく示したものとなっています。評価規準を設定した後、どのような判定基準を設けて、どのような方法で評価を進めればよいのかということ、多様な事例を取り上げて示してあります。小学校についても、全教科発刊されていますので、ぜひご参考ください。

（研究課長 副島 和久）

他にも図書資料室には教育に関するたくさんの本があります。ぜひ研修終了後や昼休み、この夏の一冊を探しにおいでください。

教育関係雑誌もおすすめします！

図書資料室では、今年度 16 冊の雑誌を置いています。各号、様々な特集が生まれ、魅力的な記事がいっぱいです。最新号以外は、貸し出しもしています。

小学校、中学校、高等学校の教科・領域の指導や評価については『初等教育資料』『中等教育資料』、特別支援教育については『特別支援教育研究』、他にも進路指導・生徒指導等に関する雑誌もあります。専門的視点から、先生方の教育課題に応える情報が満載です。

現在、続々と8月号が入ってきています。『数学教育』（明治図書）8月号は、今話題のアクティブ・ラーニングについて特集記事が掲載されています。ぜひ、図書資料室に足を運んでご覧ください。

図書資料室のおすすめ号

『総合 教育技術（7月号）』

☆総力大特集1 若手教師に身につけさせたい「正しく叱る」「正しくほめる」技術

- ・コミュニケーションスキルが身につく校内研修術について赤坂真二先生が成功事例とともに解説

- ・連続提言 若手教師の「叱る」「ほめる」力をどう育てるか

☆総力大特集2 生活習慣の劣悪化、低学力、貧困の連鎖

- ・子どもの貧困に向き合う 学校経営・学級経営



最新号は図書資料室入口付近

☆ 教育センターWebで書籍・雑誌の検索ができます：<http://www.saga-ed.jp/shien/shiryouhoukai/>

☆ 雑誌の一覧についてもWeb、または『ミネルバ139号』p. 4をご覧ください

「図書資料室の書籍・雑誌」に関することは… 教育課程支援担当へ 0952-62-5238(直通)